



平成 28 年 9 月 15 日

河川における魚類のへい死の発生について（第 2 報）

平成 28 年 9 月 7 日付けで発表しました「河川における魚類のへい死の発生について」に関して、原因の調査及び水質分析を実施しておりましたが、調査結果をお知らせします。

1. 調査結果

1) カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、硫化物イオンについて検査した結果は別紙のとおりです。

なお、原因は特定できませんでした。

2) 検体を岡山県の水産研究所へ持ち込みましたが、腐敗が進み過ぎていたため検査できませんでした。

3) 9 月 7 日夕方に現地状況を目視により確認した結果、水の濁りや汚れ、油膜は確認できず、現場付近でも同種魚(ボラ)が泳いでいるのを確認しました。

2. 今後について

今後、特段の異常が見られない場合、本件で情報提供を終わります。

問	い	合	わ	せ	先
岡山三川水質汚濁防止連絡協議会 事務局					
中国地方整備局 岡山河川事務所					
電話 086-223-5196 (防災情報課直通)					
【担当者】 副所長(調査) <small>しもやま</small> 下山 茂 (内線 205)					
防災情報課長 <small>こばたけ</small> 小畑 哲也 (内線 281)					

分析結果

調査結果を表1に示す。

環境基準項目（硫化物イオンを除いた項目）はいずれも環境基準値に適合しており、唯一検出されたヒ素についても、環境基準値の1/5であった。また、低DO時に同時に発生すると考えられる硫化物イオンについても、定量下限値未満であり異常はなかった。

以上より、現地観測及び採水分析の結果、魚の斃死と結び付けられる結果は得られず、原因については特定できなかった。

表1 調査結果

項目	地点名	高梁川水系	環境基準値
		潮止堰下	
採水時刻		19:10	
カドミウム	(mg/L)	0.0003未満	0.003以下
全シアン	(mg/L)	0.01未満	検出されないこと
鉛	(mg/L)	0.001未満	0.01以下
六価クロム	(mg/L)	0.002未満	0.05以下
砒素	(mg/L)	0.002	0.01以下
総水銀	(mg/L)	0.0001未満	0.0005以下
硫化物イオン	(mg/L)	0.1未満	—

※DO…溶存酸素量 (Dissolved Oxygen) は、水中に溶解している酸素量をいう。

※表中「〇〇未満」は定量下限値未満で、「不検出」を示しています。

